

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名	イベントテント等購入事業				担当課	経済観光課				担当係	観光交流係							
	長期振興計画 の位置づけ	施策	観光・交流の振興				課長名	松元 明和				担当者名	古田 真						
		基本事業	観光施設の整備				事業年度	H29 -				(H29)	051816						
	開始のきっかけや 取り巻く状況	市はイベントテントを所有しておらず、イベント等の度に市商工会から借用しているところであるが、市商工会所有のテントは経年劣化が激しく、使用に支障を来たしている状況である。										(H30)		123905					
	事業概要	対象	市民等										事業主体		市				
		手段	入札を執行し、落札者と売買契約を締結後、物品の購入・検査を行う。										実施計画	○	総合戦略	-			
		意図	各種イベント等に活用することで、イベントの充実を図る。										過疎	-	辺地	-			
	年度別	前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)									
	事業内容	事業実施無し				イベントテント6張及び横幕1張を購入する。				イベントテント6張及び横幕1張を購入する。									
	従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時		担当課	1	関係課		臨時		担当課	1	関係課		臨時	
	財源	決算額	0 (千円)				決算額	1,424 (千円)				予算額	1,600 (千円)						
								001 庁用器具費		1,424				001 庁用器具費		1,600			
		特定	一般				特定	1,423 一般				1	特定	一般				1,600	
	評価指標(単位)	前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由					
		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	目標値								
	イベントテント数(張)							6 6			6								
	横幕数(張)							1 2			1								
テント使用回数(回)							1 1			10									
取 組 内 容	入札を執行し、落札者と売買契約を締結後、物品の購入・検査を行い、テント6張と横幕1張を整備した。																		
成 果	物価の高騰や離島への送料が多かったことにより、横幕が1張少ない整備となってしまったものの、整備後はスムーズにイベントで活用することができた。																		
課 題	30年度は予定どおりのテント等を整備できるように事務を遂行したい。 多くのイベントに活用できるよう管理体制を確立していく。																		

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check	
	仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○
		2	市が税金を投入して行うべき仕事か？										○
		3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？										○
	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○
		2	類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか)										○
		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○
	効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										○
		2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○
2		受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○	

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	各種イベント・事業を実施する際に必ず必要なものであり、直接所有する必要がある。過去の実績 から12張は必要。		
	A				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

当
担
者
が
入
力

事務事業名	観光推進事業							担当課	経済観光課			担当係	観光交流係											
長期振興計画の位置づけ	施策	観光・交流の振興							課長名		松元明和			担当者名	鮫嶋健司									
	基本事業	観光誘客活動の推進							事業年度		－			(H29)	051901									
開始のきっかけや取り巻く状況	観光業務(係)発足当初から。種子島観光連絡協議会、各市町観光協会が統合され、平成19年から種子島観光協会が発足している。各市町及び観光協会と連携を取って「種子島」のPR活動をしている。													予算事業コード	(H30) 124001									
事業概要	対象	・出版社（ホームページ製作会社）、テレビ製作会社 ・イベント来場者 ・SNS利用者											事業主体		市									
	手段	観光PR活動（雑誌等投稿、マスコミ取材対応等） イベント等での観光PR											実施計画	-	総合戦略	-								
	意図	・種子島を紹介(PR)してもらう ・PRイベント来場者に種子島を認知してもらう											過疎	-	辺地	-								
年度別	前年度(平成28年度)							当該年度(平成29年度)						次年度(平成30年度)										
事業内容	種子島の観光PR活動をし、観光客の入込み増を図る。							種子島の観光PR活動をし、観光客の入込み増を図る。						種子島の観光PR活動をし、観光客の入込み増を図る。										
従事職員数(人)	担当課	3	関係課		臨時			担当課	3	関係課		臨時			担当課	3	関係課		臨時					
財源	決算額	840 (千円)							決算額	826 (千円)							予算額	832 (千円)						
	002普通旅費	:	327	:	:	:	:	002普通旅費	:	303	:	:	:	:	002普通旅費	:	283	:	:	:				
	001消耗品	:	22	:	:	:	:	001消耗品	:	41	:	:	:	:	001消耗品	:	44	:	:	:				
	004印刷製本費	:	225	:	:	:	:	004印刷製本費	:	225	:	:	:	:	004印刷製本費	:	175	:	:	:				
	001通信運搬費	:	10	:	:	:	:	001通信運搬費	:	7	:	:	:	:	006修繕料	:	50	:	:	:				
	002手数料	:	6	:	:	:	:	002手数料	:	7	:	:	:	:	001通信運搬費	:	10	:	:	:				
	004広告料	:	150	:	:	:	:	004広告料	:	144	:	:	:	:	002手数料	:	20	:	:	:				
	002補助金	:	100	:	:	:	:	002補助金	:	100	:	:	:	:	004広告料	:		:	:	:				
	特定	一般 840							特定	一般 826							特定	一般 832						
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)							当該年度(平成29年度)						次年度(H30)				前年度 評価理由						
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値					中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値				中間値 (事中評価)	目標値									
種子島への高速船による島発往復割引以外の入込客数		153467							当該指標の入込客数が、非公表となった。	154000						155000	観光需要の把握を行いながら、ターゲットを絞った展開も視野に入れる必要がある。							
市内宿泊客数		66415							68454	67000						68000								
FACEBOOKいいね獲得数		250							164	270						200								
取組内容	種子島観光プロモーション事業と連動しながら、閑空旅博、都庁イベント、山形物産展等でのPRを行った。また、SNSの活用や種子島観光協会と連動した情報発信、メディア等への情報提供を行った。																							
成果	FACEBOOKの情報発信回数は、増加したもの、いいね獲得件数は対前年と比較して減少した。高速船による島発以外の入込客数及び市内宿泊者数は、まだ調査中であり確定していないが、入込客数は若干の減少、宿泊は微増と見込んでいる。																							
課題	評価指標にしている入込客数や宿泊者数は、ここ数年大幅な伸びを示しており、一時的なものによるものかどうかも含め検証する必要がある。少しずつではあるが、外国人観光客も増えているので、受入体制の充実を図る必要がある。																							

②-1 振り返り (Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか？	○
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか）	○
	3	市民や事業所（企業・NPOなど）との役割分担は適切に認識されているか？	○
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法（業務仕様や工法の工夫、外部委託等）はないか？	△
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	観光における情報発信の基本的事業である。今後、民間との連携により、より多くの観光客に情報発信できる仕組みを検討していくことも必要である。現在は、SNS・各種イベントへの出展を中心に情報発信を行っているが、業務の在り方を見直し、より効率の良い取組を研究してほしい。		
	A				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

担当者が入力

事務事業名	大型客船寄港受入協議会支援事業					担当課	経済観光課		担当係	観光交流係								
長期振興計画の位置づけ	施策	観光・交流の振興				課長名	松元明和		担当者名	鮫嶋健司								
	基本事業	観光誘客活動の推進				事業年度	19 -		(H29)	051908								
開始のきっかけや取り巻く状況	平成20年から西之表港の中央地区埠頭の供用開始に伴い、永年の陳情が実り大型客船の誘致が実現した。不定期ではあるが大型客船が寄港するようになった。								予算事業コード	(H30) 124006								
事業概要	対象	旅行エージェント 大型客船の乗客						事業主体		大型客船寄港受入協議会								
	手段	客船寄港時の歓迎イベントを充実することにより、種子島の観光PRを行い、また地元特産品の販売促進・周知を図る。						実施計画	-	総合戦略	-							
	意図	種子島の文化・自然・歴史・伝統・産業等を知り、興味を持ってもらう						過疎	-	辺地	-							
年度別	前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)									
事業内容	客船寄港時の歓迎イベントを充実することにより、種子島の観光PRを行い、また地元特産品の販売促進・周知を図る。				客船寄港時の歓迎イベントを充実することにより、種子島の観光PRを行い、また地元特産品の販売促進・周知を図る。				客船寄港時の歓迎イベントを充実することにより、種子島の観光PRを行い、また地元特産品の販売促進・周知を図る。									
従事職員数(人)	担当課	3	関係課		臨時		担当課	3	関係課		臨時		担当課	3	関係課		臨時	
財源	決算額 200 (千円)				決算額 200 (千円)				予算額 100 (千円)									
	002 補助金	200			002 補助金	200			002 補助金	100								
	特定		一般	200	特定		一般	200	特定		一般	100						
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由					
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	目標値								
寄港回数		6	5			3	2			1		寄港する際のおもてなしを充実させることで、西之表港への良い印象付けを行う。						
乗客数		2,809	2,100			1,343	900			600								
出展での販売額		3,440,612	2,500,000			1,187,323	1,000,000			500,000								
取組内容	飛鳥Ⅱ1回、ぱしふいつくびいなす2回の計3回西之表港に寄港したことから、歓送迎イベントや特産品の販売などを行った。																	
成果	歓送迎イベントでは、種子島鉄砲太鼓の披露や火縄銃試射を実施し多くの観光客に喜ばれた。岸壁では、特産品の販売も行い、確定ではないが、140万円程度の売り上げがあった。また、安納いもの振り舞いを実施し、今後の販売促進に繋げた。																	
課題	岸壁での特産品販売は実施しているものの、南種子町でお土産を購入することも多いことから、いかに商店街への立ち寄らせるかが課題である。それに伴い、レンタサイクルの導入も検討する必要がある。																	

②-1 振り返り (Check)

課長が記入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
	仕事の目的は正しく認識されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
		2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
		3	正しい成果認識による成果の把握ができているか？	○
	今後も有効に機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
		2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事が他課や他団体（国県等）にはないか）	○
		3	市民や事業所（企業・NPOなど）との役割分担は適切に認識されているか？	△
	効率的に行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法（業務仕様や工法の工夫、外部委託等）はないか？	○
		2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	△
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
2		受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○	

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長 が 記入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		○
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		○
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		○
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	1市2町・各種団体を構成員とした委員会への補助金である。実際、本市が中心となりイベントを推進しているが、将来的には交流人口を受け入れる民間(観光協会・民間等)へ移管することも検討してよい。西之表港の利用促進も目的としている。また、寄港時のオプションが本市観光に直結しておらず、今後、いかに商店街などでお金を落とすことに繋がられるかを考えていく必要がある。	
	A				

事務事業マネジメントシート
～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）
(3月中に記入)

担当者が入力	事務事業名		水着バス運営補助事業					担当課		経済観光課			担当係		観光交流係									
	長期振興計画の位置づけ		施策		観光・交流の振興					課長名		松元 明和			担当者名		古田 真							
			基本事業		観光誘客活動の推進					事業年度		H29 -			(H29)		051914							
	開始のきっかけや取り巻く状況		種子島の観光は、種子島宇宙センターを中心として展開しており、特に団体観光客のツアーにおいては、種子島の南部にあたる地域だけを観光し、日帰りで島を離れる人も少なくない。また、二次交通が整備されていないため、北部観光のメインとなる浦田海水浴場に行く手段が無い状況である。										予算事業コード		(H30)			124007						
	事業概要		対象		観光客等										事業主体		市							
			手段		浦田海水浴場まで水着バスを運行することで二次交通を補完する。										実施計画		○ 総合戦略 -							
			意図		種子島北部の魅力を知ってもらい、観光客等の滞在時間を増やす。										過疎		- 辺地 -							
	年度別		前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(平成30年度)											
	事業内容		事業実施無し					水着バスを運行し、二次交通を補完する。					水着バスを運行し、二次交通を補完する。											
	従事職員数(人)		担当課		関係課		臨時		担当課		1		関係課		臨時		担当課		1		関係課		臨時	
	財源		決算額 0 (千円)					決算額 771 (千円)					予算額 800 (千円)											
								002 補助金 771					002 補助金 800											
			特定		一般			特定		一般 771			特定		一般 800									
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(H30)					前年度評価理由						
			中間値(事中評価)		実績値(事後評価)		目標値		中間値(事中評価)		実績値(事後評価)		目標値		中間値(事中評価)		目標値							
	利用客数(人)										138		300				300							
	延べ宿泊客数(人)										68,454		67,000				68,000							
取 組 内 容			夏休み期間限定ではあるが、浦田海水浴場まで水着バスを運行した。																					
成 果			観光客等の二次交通を補完することができたものの、台風等の荒天が多かったこともあり、利用客が少なかった。																					
課 題			北部観光の魅力をより多くの観光客等に知ってもらえるよう、水着バス運行の周知を更に幅広く行うことで利用客の増加に努めたい。																					

②-1 振り返り(Check)

課長が記入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check			
	仕事の目的は正しく認識されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○	
			2		市が税金を投入して行うべき仕事か？										○	
			3		正しい成果認識による成果の把握ができているか？										○	
	今後も有効に機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○	
			2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)										○	
			3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										△	
	効率的に行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										△	
			2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										△	
	公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○	
2			受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○			

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】 振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	公共交通の脆弱性を補完し、本市観光の中心である浦田海水浴場・北部観光の振興に寄与するものである。利用者が伸びないこともあり、情報発信を強化する必要があるとともに、利用者を増加させ民間の交通機関が参入できる環境形成を推進していかなければならない。		
	B				

事務事業マネジメントシート
～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）
(3月中に記入)

担当者が入力

事務事業名	種子島観光プロモーション事業					担当課	経済観光課					担当係	観光交流係									
長期振興計画の位置づけ	施策	観光・交流の振興					課長名	松元明和					担当者名	鮫嶋健司								
	基本事業	観光誘客活動の推進					事業年度	29 -					(H29)	051920								
開始のきっかけや取り巻く状況	サイーフィンを題材とした映画製作誘致や東京オリンピックでサーフィン競技が追加され、サーフィン・映画・オリンピックをキーワードとした取り組みを検討した。															予算事業コード	(H30)					124008
事業概要	対象	・イベント来場者 ・SNS利用者等															事業主体	市				
	手段	イベント等での観光PR SNS等を活用した情報発信															実施計画	-	総合戦略	-		
	意図	・種子島に興味をもってもらう ・PRイベント来場者に種子島を認知してもらう															過疎	-	辺地	-		
年度別	前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(平成30年度)											
事業内容						サーフィン等を活用した観光PRや情報発信、ニーズ調査等を行い、交流人口の拡大を図る。					サーフィン等を活用した観光PRや情報発信、ニーズ調査等を行い、交流人口の拡大を図る。											
従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時		担当課	3	関係課		臨時		担当課	3	関係課		臨時					
財源	決算額 0 (千円)					決算額 3,678 (千円)					予算額 4,121 (千円)											
						001臨時雇用者賃金 2454					001臨時雇用者賃金 2881											
						002普通旅費 495					002普通旅費 500											
						001消耗品 100					001消耗品 200											
						004印刷製本費 300					004印刷製本費 300											
						001通信運搬費 39					001通信運搬費 40											
						004広告料 290					004広告料 300											
	特定	一般				特定	1,838	一般	1,840				特定	2,060	一般	2,061						
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(H30)					前年度評価理由						
	中間値(事中評価)	実績値(事後評価)	目標値			中間値(事中評価)	実績値(事後評価)	目標値			中間値(事中評価)	目標値										
種子島への高速船による島発往復割引以外の入込客数							当該指標の入込客数が、非公表となった。	154,000				155,000										
FACEBOOK等での情報発信回数							163	110				110										
FACEBOOKいいね獲得数							164	200				200										
取組内容	関空旅博、都庁イベント、山形物産展等でのPRを行った。また、SNSの活用や種子島観光協会と連動した情報発信、メディア等への情報提供を行った。																					
成果	FACEBOOKの情報発信回数は、目標を達成したものの、いいね獲得件数は下回った。高速船による島発以外の入込客数は、まだ調査中であり確定していないが、若干の減少を見込んでいる。																					
課題	イベントの際は、アンケート調査を行い、観光需要の把握に努めているが、なかなか分析までに至っていない。貴重な資料を活かしながら、観光振興を図る必要がある。																					

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check
仕事の目的は正しく認識されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？									○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？									○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか？									△
今後も有効に機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)									○
	2	類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)									△
	3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？									○
効率的に行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？									△
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？									○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？									○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)									○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	情報発信のあり方は多様であり、SNS・WEBだけでの展開では弱い。マスメディアを活用したり、ロコサイトを活用するなど、様々な展開で取り組んでほしい。また、それに応じて成果の在り方も検討していく必要がある。		
	B				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名		オリンピック合宿誘致事業				担当課		経済観光課				担当係		観光交流係									
	長期振興計画 の位置づけ		施策		観光・交流の振興				課長名		松元 明和				担当者名		中村かおり							
			基本事業		観光誘客活動の推進				事業年度		29 -				(H29)		051921							
	開始のきっかけや 取り巻く状況		2020年の東京オリンピックにおいて、サイーフィンが正式種目として採用されたことを機に、サーフアイランド種子島 の愛称を国内外にPRし、オリンピックの事前合宿誘致を始め、サーフィン愛好家や観光客の誘致に取り組むこと となった。										予算事業コード (H30)		124009									
	事業概要		対象		大会参加者、プロサーファー、大会関係者										事業主体		サーフアイランド種子島PR協議会							
			手段		プロサーフィン大会の開催、PR用素材の作成、サーフィン関係者団体等へのPR活動										実施計画		- 総合戦略 -							
			意図		・種子島を知ってもらおう。 ・大会に参加してもらおう。										過疎		- 辺地 -							
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)													
	事業内容						日本プロサーフィン連盟の大会を協賛し、サーフアイランド種子島を情報発信し、種子島の魅力を国内外にPRする。				日本プロサーフィン連盟の大会を協賛し、サーフアイランド種子島を情報発信し、種子島の魅力を国内外にPRする。													
	従事職員数(人)		担当課		関係課		臨時		担当課		4 関係課		臨時		4		担当課		4 関係課		臨時			
	財源		決算額 0 (千円)				決算額 3,000 (千円)				予算額 3000 (千円)													
							001負担金 3000				001負担金 3000													
			特定 一般				特定 一般 3,000				特定 一般 3000													
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由									
			中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値				中間値 (事中評価)		目標値					
	大会参加者										121		100						150					
	観光PR動画の作成										1		1						0					
	情報発信媒体										8		5				10							
取 組 内 容		プロサーフィン大会を開催し、121名の参加があった。また、YouTube等を活用し、情報発信を行った。 観光PR用動画を作成し、観光PRを行った。																						
成 果		プロトタイプを実施したことにより、アマ40名を含め121名の参加となった。参加者は、1～2名の同伴者と来島しており、4～5泊する人が多かった。大会関係者を含めると、推定で1500名程の延べ宿泊者となった。情報発信では、YouTube3日間で65,000回のアクセス、AbemaTV1日最大15万件のアクセスがあった。																						
課 題		平成30年度は県からの負担金が減額となるが見込まれていることから、平成29年度並みの大会が開催できるが課題となっている。																						

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check			
	仕事の目的は 正しく認識 されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○	
			2		市が税金を投入して行うべき仕事か？										△	
			3		正しい成果認識による成果の把握ができていないか？										○	
	今後も有効に 機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○	
			2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか)										△	
			3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○	
	効率的に 行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										○	
			2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○	
	公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○	
2			受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○			

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長が記入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出により団体等を支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠及び今後の課題	オリンピック合宿誘致の為の取り組みであるが、現在、プロサーフィン大会を主としており、エントリーするであろう外国とのパイプ作りは事業の中に入っていない。今後、大会実績を強みとし、国内外のオリンピック候補者へアプローチしなければならない。その延長で一般サーファーが更に増加するのではないかな。		
	B				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

担当者が入力

事務事業名	映画製作誘致事業						担当課	経済観光課			担当係	観光交流係							
長期振興計画の位置づけ	施策	観光・交流の振興						課長名			松元 明和			担当者名	古田 真				
	基本事業	観光誘客活動の推進						事業年度			H29 -			(H29) 予算事業コード	051922				
開始のきっかけや取り巻く状況	約12年前にサーフィンを題材とした映画が種子島で製作され、その次作の話が持ち上がったところであり、誘致を行うことで観光客の更なる誘客を図ることを目的とした市民有志による映画制作準備委員会が立ち上がった。															(H30)	124010		
事業概要	対象	映画										事業主体			市				
	手段	種子島を舞台とした映画の誘致を行う。 映画製作に係る組織の立ち上げ及び映画誘致に係る負担金を支出する。										実施計画	○	総合戦略	-				
	意図	観光PRを盛り込んだ映画で種子島の魅力を感じてもらい、観光客の誘客を図るため、映画製作誘致を行う。 また、サーフィンを題材とすることで、東京オリンピックに向けた合宿誘致など相乗効果を狙う。										過疎	-	辺地	-				
年度別	前年度(平成28年度)						当該年度(平成29年度)						次年度(平成30年度)						
事業内容	事業実施無し						映画製作誘致に係る経費を補助し、誘致を図る。						映画製作のプロモーション費を負担し、全国に幅広く広報を行う。						
従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時		担当課	4	関係課		臨時		担当課	1	関係課		臨時		
財源	決算額	0 (千円)					決算額	800 (千円)					予算額	10000 (千円)					
		:	:	:	:	:		:	:	:	:	:		:	:	:	:	:	
	特定	一般					特定	一般 800					特定	10,000 一般					
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)						当該年度(平成29年度)						次年度(H30)				前年度 評価理由		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)	目標値							
映画誘致数(本)										1		1							
映画製作数(本)										-		-				1			
入込客数(高速船:島発以外)(人)										当該指標の入込客数が、非公表となった。		154,000				155,000			
取組内容	映画製作誘致を行う映画制作準備委員会の活動を支援した。																		
成果	平成31年春公開に向けた映画製作を誘致することができた。																		
課題	より多くの人に映画を鑑賞してもらえるように全国的な宣伝広報を行い、観光客の誘客に繋げていく。																		

②-1 振り返り (Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	○
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか）	○
	3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？	○
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？	○
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長 が 記入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		○
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		○
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		○
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	情報発信の最も効果的なあり方が映画での発信だと言えるほど効果は高い。他自治体(鹿児島では阿久根・南大隅など)でも観光プロモーションの1つとして積極的に支援している。撮影時の盛り上がり、上映での宣伝、整地巡礼での観光と、一連の流れを想定し、連動した事業構築を実施する必要がある。	
	A				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

[illegible]

②-1 振り返り (Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	○
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか）	△
	3	市民や事業所（企業・NPOなど）との役割分担は適切に認識されているか？	○
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法（業務仕様や工法の工夫、外部委託等）はないか？	○
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長 が 記入	評価の視点		主な見るべきポイント		check
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		○
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		○
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		○
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	②【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	当初予定していた企業(ドンキホーテ)から、調整が難しいとのことで企業人の採用ができなかった。ただ、仕組みとしては本市への誘客の為、大手企業のネットワークを活用できることも含め、効果は高い。現時点では、アニメを活用した誘客を進めていることもあり、(株)角川へ打診しており、本社人事委員会で検討していただいている。	
	B				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名		種子島滞在型観光促進事業				担当課		経済観光課				担当係		観光交流係					
	長期振興計画 の位置づけ		施策		観光・交流の振興				課長名		松元明和				担当者名		鮫嶋健司			
			基本事業		観光誘客活動の推進				事業年度		29 -				(H29)		051924			
	開始のきっかけや 取り巻く状況		特定有人国境離島地域社会維持推進交付金が新設されたことを受け、島内1市2町(種子島全体)で滞在型観光促進事業について取り組むことで合意した。										予算事業コード (H30)		124012					
	事業概要		対象		事業によって異なる										事業主体		種子島観光協会			
			手段		事業によって異なる										実施計画		- 総合戦略 -			
			意図		もう一泊したいと旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化や観光サービスの担い手育成等を図る。										過疎		- 辺地 -			
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)									
	事業内容						特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して1市2町で行う滞在型観光促進事業について、事業実施者である種子島観光協会への事業費を負担する。				特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して1市2町で行う滞在型観光促進事業について、事業実施者である種子島観光協会への事業費を負担する。									
	従事職員数(人)		担当課		関係課		臨時		担当課		3 関係課		臨時		担当課		3 関係課		臨時	
	財源		決算額		0 (千円)		決算額		6,212 (千円)		予算額		7,000 (千円)							
							001負担金		6,212		001負担金		7,000							
			特定		一般		特定		4,022 一般 2,190		特定		4,550 一般 2,450							
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由					
			中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値				中間値 (事中評価)		目標値	
	種子島への高速船による島発 往復割引以外の入込客数										当該指標 の入込客数 が、非公表と なった。		154000				155000			
	FACEBOOKでの情報 発信回数										163		110				180			
取 組 内 容		6つの事業(種子島アイランドガイド育成事業、サイクルツーリズム推進事業、アニメツーリズム造成支援事業、観光客入込動向調査事業、宝探しイベント事業、アイランドホッピングツアー実施に伴う観光資源及び滞在型観光プラン等の情報発信業務)を実施した。																		
成 果		アニメ、サイクルについては、今後事業を推進していくための企画・開発に伴う調査業務を中心に実施し、次年度に向けた下地作りができた。																		
課 題		事業実施が年度末までとなっており、事業効果を検証することができない事業があった。																		

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check			
	仕事の目的は 正しく認識 されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○	
			2		市が税金を投入して行うべき仕事か？										○	
			3		正しい成果認識による成果の把握ができているか？										△	
	今後も有効に 機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										△	
			2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)										○	
			3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○	
	効率的に 行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										△	
			2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○	
	公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○	
2			受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○			

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	成果をつかみにくいことは、次年度しっかり修正すること。事業としては、今後の種子島・本市の観光促進にとって、可能性の高い取組で構成しており、着実に進めることで、交流人口の拡大につながられるものである。特に、サイクルツーリズムについては、公共交通の補完も含めかなりの効果がある。具体的な取り組みに消化してほしい。		
	B				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名		地域おこし協力隊パートナー事業				担当課		経済観光課				担当係		観光交流係					
	長期振興計画 の位置づけ		施策		観光・交流の振興				課長名		松元 明和				担当者名		中村かおり			
			基本事業		観光誘客活動の推進				事業年度		28 - 30				(H29)		709226			
	開始のきっかけや 取り巻く状況		平成21年3月31日総務事務次官の通知により地域おこし協力隊の取り組みが始まった。本市でも、協力隊を各校 区に配置し、地域活性化を図るため取り組みを進めたが、観光分野についても導入することとなった。										予算事業コード (H30)		124013					
	事業概要		対象		地域おこし協力隊員								事業主体							
			手段		隊員の目線からの観光振興に関する事業展開								実施計画		- 総合戦略 -					
			意図		地域の特性や魅力を生かした地域づくり。								過疎		○ 辺地 -					
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)									
	事業内容		都市住民など地域外の人材を新たな担い手として積極的に受け入れ、観光振興活動を行ってもらい、新たな魅力づくりや観光振興に関する提言をもらう。				都市住民など地域外の人材を新たな担い手として積極的に受け入れ、観光振興活動を行ってもらい、新たな魅力づくりや観光振興に関する提言をもらう。				都市住民など地域外の人材を新たな担い手として積極的に受け入れ、観光振興活動を行ってもらい、新たな魅力づくりや観光振興に関する提言をもらう。									
	従事職員数(人)		担当課 2		関係課		臨時		担当課 2		関係課		臨時		担当課 2		関係課		臨時	
	財源		決算額 3,353 (千円)				決算額 3,391 (千円)				予算額 873 (千円)									
			001臨時雇用者 2189 賞金 002普通旅費 314 001消耗品費 16 002燃料費 57 021車借上料 201 002補助金 576				001臨時雇用者 2103 賞金 002普通旅費 416 001消耗品費 32 002燃料費 63 021車借上料 201 023住宅等借上料 576				001臨時雇用者 527 賞金 002普通旅費 118 001消耗品費 9 002燃料費 24 021車借上料 51 023住宅等借上料 144									
			特定		一般 3,353		特定		一般 3,391		特定		一般 873							
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由					
			中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値				中間値 (事中評価)		目標値	
	隊員が手掛けた事業等				3		5				3		3				1			
取 組 内 容		大学やそうしんと連携した地方創生コラボ免許合宿プログラムやスマートエコアイランド種子島シンポジウム関係、大学との連携した事業等に取り組んだ。																		
成 果		新たな切り口による交流人口増加に向けて免許合宿プログラムを担当し、今後の可能性や課題等を整理することができた。大学と連携した事業では、種子島高校生と接する機会が多く、高校生のサポートを行い、様々な角度での交流を推進した。																		
課 題		隊員としての任期も残すところ、あと3か月となった。本人の今後の人生設計もあると思うが、定住も視野に入れてほしい。また、日誌は提出してもらっているが、これまでの成果を取りまとめてほしい。																		

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check			
	仕事の目的は 正しく認識 されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○	
			2		市が税金を投入して行うべき仕事か？										○	
			3		正しい成果認識による成果の把握ができているか？										○	
	今後も有効に 機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○	
			2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)										○	
			3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○	
	効率的に 行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										○	
			2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○	
	公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○	
2			受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○			

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？			
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？			
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか			
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？			
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？			
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？			
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？			
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？			
		3	市が求める成果水準を達成しているか？			
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？			
	②【総合評価】振り返り(Check)					
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	本事業の目的は、将来的な移住者の確保と、協力隊による島の外からの視点での地域おこしであり、地域おこしの観点では、教育・人財育成という分野で大きな貢献をしている。また、出身大学の学生を来島させ、新たな活性化プランを民間と一緒に示せたことも評価できる。		
	A					

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

[illegible]

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	△
	3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	○
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	△
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか）	○
	3	市民や事業所（企業・NPOなど）との役割分担は適切に認識されているか？	○
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法（業務仕様や工法の工夫、外部委託等）はないか？	○
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	△
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	② 【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠 及び今後の課題	西之表港の利用促進と交流人口拡大・市民との交流を目的として実施しているが、参加艇の伸びもないため、交流人口拡大には効果が限定的である。また、市民参加も限定的であり、西之表港の整備促進のためという目的をどうとらえていくかで、イベント自体の評価をする必要がある。		
	B				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

担当者が入力

事務事業名	グリーン・ツーリズム推進事業					担当課	経済観光課			担当係	観光交流係							
長期振興計画の位置づけ	施策	観光・交流の振興					課長名	松元 明和			担当者名	中村かおり						
	基本事業	交流事業の推進					事業年度	H17 -			(H29)	052007						
開始のきっかけや取り巻く状況	平成6年6月農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律が制定され、都市と農山漁村の共存が言われるようになった。年々市の人口も減少傾向になり、市内商工業も衰退傾向にある中、魅力ある地域の資源発掘により、交流人口の増加による地域の活性化と言われるようになってきた。そのため、地域連携による体験受入れ農林漁家の登録、拠点地区の設定をすずめ、受け入れ体制を整備を図ることによって、教育旅行等による入込客の増加を期待され始めている。											予算事業コード(H30)	124106					
事業概要	対象	・民泊受入家庭(市民) ・旅行者、学校 ・教育旅行生徒										事業主体		市・種子島グリーンツーリズム推進協議会・西之表市グリーンツーリズム推進協議会				
	手段	・受け入れ体制整備のための研修会等 ・誘致活動										実施計画	-	総合戦略	-			
	意図	・交流による生きがい作りや幅広い人材が活用されることによる地域の活性化 ・農林海産物の販売、農林漁業体験による収益の増加										過疎	-	辺地	-			
年度別	前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(平成30年度)							
事業内容	本市が有する美しい景観や豊かな緑等の資源を生かした都市住民の滞在型余暇活動の実現に向け、地域全体の連携により、都市住民との交流人口を増やし、本市の活性化を図る。					本市が有する美しい景観や豊かな緑等の資源を生かした都市住民の滞在型余暇活動の実現に向け、地域全体の連携により、都市住民との交流人口を増やし、本市の活性化を図る。					本市が有する美しい景観や豊かな緑等の資源を生かした都市住民の滞在型余暇活動の実現に向け、地域全体の連携により、都市住民との交流人口を増やし、本市の活性化を図る。							
従事職員数(人)	担当課	3	関係課		臨時	4	担当課	3	関係課		臨時	4	担当課	3	関係課		臨時	
財源	決算額	1133 (千円)				決算額	1,166 (千円)				予算額	1071 (千円)						
	002 普通旅費	111				002 普通旅費	144				002 普通旅費	49						
	001 消耗品費	8				001 消耗品費	8				001 消耗品費	8						
	001負担金	200				001負担金	200				001負担金	200						
	002補助金	814				002補助金	814				002補助金	814						
	特定		一般	1133		特定		一般	1,166		特定		一般	1071				
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(H30)					前年度 評価理由		
	中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値	中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値	中間値 (事中評価)		目標値					
民泊受入人数			302		300			538		500			500			今後は受入人数が増えてくることが予想されるので、効率を図っていく必要がある。		
民泊受入家庭数			64		70			60		70								
研修会・安全講習会等の開催			5		8			5		8								
取組内容	集客等交流等活性化事業と連動させながら、教育旅行の誘致活動や受け入れ体制の充実を図った。																	
成果	種子島内で1,000名、本市でも500名を超える民泊を受け入れた。																	
課題	これまでの取り組み成果もあり、受入人数も過去最大となったが、受入頻度や受入人数の制限等、これまでの受付体制の見直しが必要となった。そこで、見直しは行ったものの、許容範囲を超えてすでに受付をしている学校への対応が必要。																	

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	○
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか）	○
	3	市民や事業所（企業・NPOなど）との役割分担は適切に認識されているか？	△
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法（業務仕様や工法の工夫、外部委託等）はないか？	△
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	△
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長 が 記入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		○
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		○
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		○
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	②【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	グリーンツーリズムに関しては、例年同じ推移で対応してきたが、営業強化の成果も見え、実績を大きく伸ばすことができた。ただし、補助金を継続的に投入しなければならない状況改善もあり、集客数を更に高めなければならない。また、同時に受け入れ家庭の増と高齢化是正を行う必要もあり、課題を1つ1つクリアしていく必要がある。	
	A				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中旬に記入)

担当 者が 入 力	事務事業名		鉄砲まつり事業						担当課		経済観光課		担当係		観光交流係											
	長期振興計画 の位置づけ		施策		観光・交流の振興						課長名		松元 明和		担当者名		古田 真									
			基本事業		交流事業の推進						事業年度		H29 -		(H29) 予算事業コード (H30)		052012									
	開始のきっかけや 取り巻く状況		鉄砲伝来420周年を記念して、市と東町の共催で昭和38年10月12日に第1回が開催され、昭和39年、昭和43年の3回開催された。その後、昭和45年に鉄砲まつりと祇園祭が合併して、7月28日に「第1回種子島鉄砲まつり」として開催された。														124108									
	事業概要		対象		市民・観光客等										事業主体		種子島鉄砲まつり振興会									
			手段		鉄砲伝来の歴史を再確認するために、市民一体となった魅力的で楽しいまつりを実施する。										実施計画		-		総合戦略		-					
			意図		より多くの市民がまつりに参加することで、郷土意識や相互の理解を深めてもらう。 観光客等の誘客を行い、市の観光振興や交流人口の増加を図る。										過疎		-		辺地		-					
	年度別		前年度(平成28年度)						当該年度(平成29年度)						次年度(平成30年度)											
	事業内容		第47回種子島鉄砲まつりの開催						第48回種子島鉄砲まつりの開催						第49回種子島鉄砲まつりの開催											
	従事職員数(人)		担当課		7		関係課		115		臨時		7		担当課		7		関係課		118		臨時		7	
	財源		決算額		7,500 (千円)						決算額		7,500 (千円)						予算額		8,700 (千円)					
			002 補助金		7,500						002 補助金		7,500						002 補助金		8,700					
			特定		一般		7,500				特定		一般		7,500				特定		8,700 一般					
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)						当該年度(平成29年度)						次年度(H30)				前年度 評価理由							
			中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		目標値									
	参加人数				2,000		2,000				2,000		2,000				2,500		マンネリ化している との声もあるが、検 討会を開催しながら 改善を図る。							
	見学者数				13,000		13,000				13,000		13,000				13,500									
入込客数(高速船:島発 以外)(人)				153,467						当該指標 の入込客数 が、非公表と なった。		154,000				155,000										
取 組 内 容			種子島鉄砲まつりを実施すべく、補助を行い滞りなく事務を遂行した。																							
成 果			種子島鉄砲まつりを盛大に開催できた。また、シンガーソングライターの丸石輝正さんや、東京大学・鹿児島国際大学よさこい同好会の学生や、鹿児島実業高等学校吹奏楽部の生徒らが来島し、まつりへの出演は勿論のこと、島民との交流も行っていた。																							
課 題			外部からのゲストにより一定の盛り上がりは担保できているものの、市民自らがもっと楽しめるようなまつりを実施していく工夫を生み出すことで、更なるまつりの活性化に繋げていく。																							

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	○
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか）	○
	3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？	○
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？	○
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？			○
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？			○
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか			○
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？			
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？			
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？			
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？			
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？			
		3	市が求める成果水準を達成しているか？			
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？			
	②【総合評価】振り返り(Check)					
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	過去の鉄砲まつりに比べ、新たな要素をいくつも取り入れながら進めている。特に、大学生・高校生を島外から呼び寄せ、祭りに活気を与えていることは、市民からも好評であり、また、島外へのPRIに関しても効果的である。		
	A					

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

担当
者が
入力

事務事業名		集客交流等活性化事業				担当課		経済観光課		担当係		観光交流係			
長期振興計画 の位置づけ		施策	観光・交流の振興				課長名		松元 明和		担当者名		中村かおり		
		基本事業	交流事業の推進				事業年度		29 - 30		(H29) 予算事業コード		052017		
開始のきっかけや 取り巻く状況		これまでグリーン・ツーリズムに取り組んできているが、他業務との兼ね合いで集中した取組ができている。専従的に取り組む体制が必要のため。民泊、体験型修学旅行のニーズは現在大きなものがあり、組織が確立できれば、修学旅行以外の観光客への対応も可能になる。									(H30)		124109		
事業概要		対象	・民泊受入家庭(市民) ・旅行者、学校 ・教育旅行生徒								事業主体		市		
		手段	・受入れ体制整備のための研修会等 ・誘致活動												
		意図	・交流による生きがい作りや幅広い人材が活用されることによる地域の活性化 ・農林海産物の販売、農林漁業体験による収益の増加								実施計画	-	総合戦略	-	
年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)					
事業内容		農林漁業を中心とした都市農村交流による地域活性化を図り、種子島の魅力を島内外に発信するために現在新たな教育旅行の形として定着している「民泊型教育旅行」の更なる推進及び受入体制の整備・確立及び誘客・PR活動を展開する。				農林漁業を中心とした都市農村交流による地域活性化を図り、種子島の魅力を島内外に発信するために現在新たな教育旅行の形として定着している「民泊型教育旅行」の更なる推進及び受入体制の整備・確立及び誘客・PR活動を展開する。				農林漁業を中心とした都市農村交流による地域活性化を図り、種子島の魅力を島内外に発信するために現在新たな教育旅行の形として定着している「民泊型教育旅行」の更なる推進及び受入体制の整備・確立及び誘客・PR活動を展開する。					
従事職員数(人)		担当課 3	関係課	臨時 4	担当課 3	関係課	臨時 4	担当課 3	関係課	臨時 4					
財源		決算額 5,639 (千円)				決算額 2,395 (千円)				予算額 2,422 (千円)					
		001臨時雇用者賃金 4211				001臨時雇用者 1944				001臨時雇用者 2056					
		002普通旅費 507				賞金 368				賞金 270					
		001消耗品費 80				001消耗品費 45				001消耗品費 50					
		002燃料費 135				002普通旅費 368				002普通旅費 270					
		004印刷製本費 36				001消耗品費 45				001消耗品費 50					
		001通信運搬費 30				004印刷製本費 36				004印刷製本費 36					
		002OA機器借上料 111				001通信運搬費 2				001通信運搬費 10					
		021車借上料 530													
		特定	2,819	一般	2,820	特定	一般	2,393	特定	一般	2,422				
評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由	
		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	目標値				
民泊受入人数			302	300			538	500			500	今後は受入人数が 増えてくるので、効率 を図っていく必要が ある。			
民泊受入家庭数			64	70			60	70			70				
研修会・安全講習会等の開催			5	8			5	8			8				
取 組 内 容		グリーン・ツーリズム推進事業と連動させながら、教育旅行の誘致活動や受け入れ体制の充実を図った。													
成 果		種子島内で1,000名、本市でも500名を超える民泊を受け入れた。													
課 題		これまでの取り組み成果もあり、受入人数も過去最大となったが、受入頻度や受入人数の制限等、これまでの受入体制の見直しが必要となった。そこで、見直しは行ったものの、許容範囲を超えてすでに受付をしている学校への対応が必要。													

②-1 振り返り (Check)

	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
課長が記入	仕事の目的は正しく認識されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	○
		2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
		3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	○
	今後も有効に機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
		2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事等他課や他団体(国県等)にはないか）	○
		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？	○
	効率的に行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？	○
		2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	○
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
		2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長が記入	評価の視点	主な見るべきポイント		check	
	補助金・負担金支出により団体等を支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？	○	
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？	○	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	○	
	現金・現物の給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	②【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠及び今後の課題	グリーンツーリズムに関しては、例年同じ推移で対応してきたが、営業強化の成果も見え、実績を大きく伸ばすことができた。本事業では、受け入れ体制の補完を主としており、実際に受け入れることに直接かかわっている。受け入れ学校からも、おもてなしに対して高い評価を頂いているところである。		
	A				

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(3月中に記入)

担当
者が
入力

事務事業名		姉妹都市・友好都市記念事業				担当課		総務課		担当係		秘書広報係									
長期振興計画 の位置づけ	施策	観光・交流の振興				課長名		大瀬		担当者名		田上									
	基本事業	交流事業の推進				事業年度		－		(H29)		709365									
開始のきっかけや 取り巻く状況	平成28年度、大阪府堺市との友好都市盟約が30周年を迎えたことを契機とする。平成29年は滋賀県長浜市との友好都市30周年記念事業を実施し、平成30年度はポルトガル・ヴィラ・ド・ビスポ市との姉妹都市盟約25周年記念事業を実施予定。								予算事業コード (H30)		124101										
事業概要	対象	・姉妹都市・友好都市盟約締結都市(伊佐市・大阪府堺市・滋賀県長浜市・ポルトガルヴィラ・ド・ビスポ市) ・関係都市(志布志市・岐阜県関市)								事業主体		市									
	手段	恒例の両都市のまつりに参加し、観光・文化交流を実施する。また周年事業の記念として各種交流事業(植樹式・文化講演会・物産展・スポーツ少年団交流等)を展開する。								実施計画	○	総合戦略	－								
	意図	各市との姉妹都市・友好都市盟約締結の節目と契機として、改めて両市民への周知と交流の促進を図る。								過疎	－	辺地	－								
年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)											
事業内容		・関係市のまつりに参加。あわせて種子島火縄銃保存会も参加し演武を披露する。 ・当該年度は、大阪府堺市との友好都市盟約30周年記念事業を実施。植樹式及び観光物産展・高校生による文化講演会・「人形浄瑠璃」公演、特産品を交換し給食に提供する取組などを展開した。				・関係市のまつりに参加。あわせて種子島火縄銃保存会も参加し演武を披露する。 ・当該年度は、滋賀県長浜市との友好都市盟約30周年記念事業を実施。植樹式及び観光物産展・高校生による文化講演会・「人形浄瑠璃」公演、特産品を交換し給食に提供する取組などを展開した。				・関係市のまつりに参加。あわせて種子島火縄銃保存会も参加し演武を披露する。 ・当該年度は、ポルトガルヴィラ・ド・ビスポ市姉妹都市25周年記念事業を実施予定。市民訪問団を結成し、ヴィラ・ド・ビスポ市を訪問予定。子どもたちの交流やスポーツ団体との交流を予定する。											
従事職員数(人)		担当課	2	関係課	3	臨時	0	担当課	3	関係課	3	臨時	0	担当課	3	関係課	1	臨時	0		
財源		決算額 823 (千円)				決算額 2,563 (千円)				予算額 6,310 (千円)											
		記念品	:	9	:	謝金	:	1420	印刷製本費	:	119	:	特別旅費	:	6300	:	:				
		普通旅費	:	457	:	記念品	:	32	委託料	:	25	:	消耗品	:	10	:	:				
		消耗品費	:	87	:	普通旅費	:	592	消耗品費	:	226	:	通信運搬費	:	104	:	:				
		印刷製本費	:	65	:	消耗品費	:	226	通信運搬費	:	104	:	機械借上料	:	113	:	:				
		通信運搬費	:	92	:	通信運搬費	:	104	:	機械借上料	:	45	:	特定	:	411	一般	:	412		
		機械借上料	:	113	:	機械借上料	:	45	:	特定	:	1,274	一般	:	1,289	特定	:	3,155	一般	:	3,155
評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由							
		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値		中間値 (事中評価)	目標値										
物産展集客数(人)				340				400	290			0	記載なし								
販売額(千円)				125				200	77			0									
入込客数(人)				276,634				294,869	277,000			285,300									
取組内容		恒例の両都市のまつりに参加し、観光・文化交流を実施する。特に今年度は滋賀県長浜市との友好都市盟約30周年事業の記念として各種交流事業(植樹式・文化講演会・物産展・スポーツ少年団交流等)を展開。																			
成果		特に今年度は長浜市との交流事業において、これまで実施したことなかった事業を実施した。人形浄瑠璃の保存会や鉄砲まつりに参加された長浜市民の皆さん、そして西之表市の特産品の安納いもを給食に提供したことにより、種子島・西之表市を意識したことなかった長浜市民が種子島を訪れ、西之表市を認知してきた。西之表市民も同様である。																			
課題		周年事業だけの取り組みではなく、細く長い交流が必要となる。しかも鉄砲のつながりだけでない文化交流や互恵的な交流が必要であると考える。																			

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check
仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？	△
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？	○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができていないか？	△
今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？（限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか）	○
	2	類似の事業が他にないか？（一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか）	○
	3	市民や事業所（企業・NPOなど）との役割分担は適切に認識されているか？	○
効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法（業務仕様や工法の工夫、外部委託等）はないか？	○
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？	○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？	○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？（非受益者から見て納得が得られるか）	○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長が記入	評価の視点	主な見るべきポイント		check	
	補助金・負担金支出により団体等を支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？		
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？		
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか		
	現金・現物の給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？		
	融資・貸与を行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？		
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？		
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？		
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？		
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？		
		3	市が求める成果水準を達成しているか？		
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？		
	②【総合評価】振り返り(Check)				
	総合評価(課長)	評価結果の根拠及び今後の課題	友好都市との交流事業など、成果の把握及び認識が課題となると感じる。たとえば消防出初式も活動、行事としては当然すべきものとして行われるが、成果意識はそれほど高いとは思われない。全般的な課題かもしれない。		
	B				

事務事業マネジメントシート
～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）
(3月中に記入)

担当者が入力

事務事業名	種子島ふるさと応援隊事業										担当課	地域支援課				担当係	協働推進係													
長期振興計画の位置づけ	施策	観光・交流の振興										課長名	上妻誠一				担当者名	山口智広												
	基本事業	交流事業の推進										事業年度	H18 -				(H29)	52006												
開始のきっかけや取り巻く状況	市長公約により平成18年度から開始。														(H30)				124105											
事業概要	対象	○市民、出郷者 ○種子島にゆかりのある方（出郷者の親戚、知人、種子島に赴任したことがある方、種子島に興味がある方など）														事業主体				市										
	手段	○出郷者総会に出向き、応援隊の周知・勧誘 ○文書発送による周知、勧誘 ○入会者との交流														実施計画	-				総合戦略	-								
	意図	○応援隊を知ってもらう。 ○応援隊に入会してもらう。														過疎	-				辺地	-								
年度別	前年度(平成28年度)										当該年度(平成29年度)										次年度(平成30年度)									
事業内容	出郷者とのネットワークを構築し、人・もの・情報の相互交流を行い、地域の活性化を目指す。										出郷者とのネットワークを構築し、人・もの・情報の相互交流を行い、地域の活性化を目指す。										出郷者とのネットワークを構築し、人・もの・情報の相互交流を行い、地域の活性化を目指す。									
従事職員数(人)	担当課	1	関係課	0	臨時	0	担当課	1	関係課	0	臨時	0	担当課	1	関係課	0	臨時	0												
財源	決算額	592 (千円)					決算額	478 (千円)					予算額	609 (千円)																
	002普通旅費	309					002普通旅費	309					002普通旅費	319																
	001消耗品費	4					001消耗品費	3					001消耗品費	5																
	004印刷製本費	166					004印刷製本費	154					004印刷製本費	155																
	007出会負担金	10					007出会負担金	10					007出会負担金	16																
	001通信運搬費	3					001通信運搬費	2					001通信運搬費	14																
	002補助金	100					002補助金	0					002補助金	100																
	特定	一般 592					特定	一般 478					特定	一般 609																
評価指標(単位)	前年度(平成28年度)					当該年度(平成29年度)					次年度(H30)					前年度 評価理由														
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値			中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値			中間値 (事中評価)	目標値																		
入会者数		321	400				276	400			303	320			交流の中で、まちづくりにつながるような情報交換の機会を作っていく必要があると考える。出郷者と地元に住んでいる人では、考え方に差が出てくるため、会議を行うなど一工夫が必要だと思う。															
種子島ふるさと交流大会への島外者の参加者数		15	50				14	50			0	50																		
取組内容	出郷者会(関東、関西、東海、九州)の総会に市長、議長、担当で出向いて意見交換を行うとともに、本市の広報誌「市政の窓」(毎月発行)と応援隊新聞(年4回発行)を送付して情報提供を行った。また、種子島ふるさと交流大会(ゴルフ大会)を開催して、出郷者と市民との親睦も図った。																													
成果	出郷者会では新たに種子島ふるさと応援隊に入会していただける方やふるさと納税をしてくれる方がいた。また、種子島ふるさと交流大会に島外から参加していただき、交流人口の増加につながった。																													
課題	種子島ふるさと応援隊の入会者が伸び悩んでいる。種子島ふるさと交流大会についても島外からの参加者が少ない。																													

②-1 振り返り(Check)

課長が記入

評価の視点	主な見るべきポイント										check	
仕事の目的は正しく認識されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○
	2	市が税金を投入して行うべき仕事か？										○
	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか？										○
今後も有効に機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○
	2	類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事か他課や他団体(国県等)にはないか)										○
	3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○
効率的に行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										○
	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○
公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○
	2	受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課長 が 記入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？			
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？			
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか			
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？			
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？			
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？			
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？			
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？			
		3	市が求める成果水準を達成しているか？			
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？			
	②【総合評価】振り返り(Check)					
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	出郷者会や種子島ふるさと交流大会等において、出郷者と情報交換を行うことは、外から見た種子島を知り、今後の施策のヒントとなる可能性があるとともに、交流人口の増につながっており、この事業は非常に重要である。ただ、会員が年々減少しているので、引き続き出郷者会や広報紙等を活用しながら、会員確保に努める必要がある。		
	A					